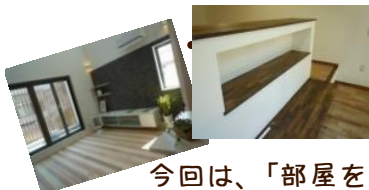


建築的暮らしのセンスアップインテリア

長田 美保子



今回は、「部屋を広く見せる工夫」です。  
たとえばリビングには、必ずと言っていいほどTVボードが置かれています。  
みなさんのお家のTVボードの横幅は、どのくらいあるでしょうか。部屋の中は見渡すと結構タテラインが多いです。窓のタテのライン。ドアのタテのライン。  
収納扉のタテのライン・・・もし、スペースにゆとりがあるのであれば、TVボードは、横幅の大きいものを選んでください。(ちなみに我が家は150センチ)ボード上の横にスペースが余れば、空間の余白として、観葉植物を飾ったり、お気に入りの小物を1つ、飾ってください。そうすると、部屋に出来る大きなヨコラインで、視覚的に広がりが出て、また部屋の中のポイントになります。工事で言うと造作家具でもヨコラインは造れます。ダイニングカウンターや飾棚など。可能であれば洗面化粧台なんかも横幅120センチほどのカウンタータイプにするとヨコラインが出るし、かっこよくなります。  
実際のスペースよりも、視覚的な印象が「部屋の大きさ」を決定します。  
狭さを克服するテクニックで、気持ちのよいインテリア空間を楽しみましょう。

☆☆ イベント報告 ☆☆

今月は4月7日(土)・8日(日)に西淀川区姫島で開催させていただいた、

『大感謝祭』の様子を米谷美智がお伝えします!

桜がほぼ満開の中、大庭工務店の大感謝祭を開催しました!

その中で初めての企画『2days shop』。

快く協力依頼をお受け下さった店舗さん6店舗、大庭工務店が2店舗、計8店舗でオープン!!

企画も初めて、開催場所も初めてで緊張気味にスタート♪



各店舗さんのファンの方も遠くから足を運んでくださったり、  
もちろん!大庭工務店のOB様もたくさんお越し頂きました。

中には2日連続で遊びにきてくださったOB様もずっと応援ありがとうございます!!

美味しい米粉のパンを食べる人、キレイなアクセサリーを買って

どこへ着けて行こうか考える人、ハンドマッサージで癒される人、

かわいい雑貨、羊毛フェルトを見て感心されている人、みんなステキな笑顔でした

たくさんの協力があつたからこそ、こんなステキな笑顔を見せて頂きました

羊毛フェルト講習、そして大庭工務店の木工教室でも、

こんなステキな作品と笑顔をいっぱい頂きました!!ありがとうございました。



次の大感謝祭は夏開催予定です!また皆さんの笑顔を見られるのを

楽しみにしております。米谷でした

最後までお読み頂きありがとうございます。

『おおばこ通信』ファイルに綴じていただければ幸いです。

発行者プロフィール

氏名 ... 代表取締役 大庭健二(おおばけんじ)  
住所 ... 〒555-0012  
大阪市西淀川区御幣島4-2-14  
生年月日... 昭和43年9月22日(さる年 おとめ座 A型)  
趣味 ... ゴルフ・テニス  
ホームページ...http://www.obakoumuten.co.jp

15坪の玉手箱 検索



発行元

手づくり住宅専門会社

～想いと技であなたの夢をかなえます～

大阪市西淀川区御幣島4-2-14

株式会社 大庭工務店

TEL 0120-839-008 FAX 06-6472-5667

Eメール web@obakoumuten.co.jp

◎	◎	1	3	1	◎	◎
新	リ	委	子	M	一	増
築	フォ	員	供	ゲ	級	改
	ーム	(男)	ス	ッ	建	修
					築	繕



手づくり住宅専門会社～想いと技であなたの夢をかなえます～



新生

おおばこ通信～第17号～

2012.5月



安居楽業

大庭工務店

TEL0120-839-008

FAX06-6472-5667

この通信紙は私となんらかしらのご縁があった方にお送りしている通信紙です

経営のやり方

おおばこうむてんより大切なあなた様へお届けします。

みなさん こんにちは。社長の大庭健二です。

すっかり春真っ盛りとなりました。公園の桜も散ってしまいましたが  
木々の新芽がちょこちょこ顔を出し、とてもかわいく、この季節が私は大好きです。

今回の5月号もよろしくお願いします。



先日、福岡県の博多に行ってきました。初めて博多駅に降りましたが  
地方の駅ってすごく立派で大きくて、迷子になりそうでした。

目的は今、私が勉強している経営塾  
『あきない実践道場』の合同勉強会への参加です。

私が建設会社を退職して、家業の工務店に帰ってきたのは20年前になります。  
地域にも同業者の方はいましたが、道ですれ違っても挨拶や話しをすることもなく  
悩みや不安があっても、誰にも相談できなかったです。

父は大工職人、私は現場監督上がりで現場の事はバッチリですが  
営業とか経営のやり方、どうやったら安定した仕事がもらえるのか?

経営の本をめぐっても、色々な経営セミナーに行っても

売上を上げることに焦点を合わせているものも多く

私には、ピンときません。

でも、一昨年9月に『これか!!』と思えるご縁がありました。

それが『あきない実践道場』です。

売上はあくまで結果。

お客様に気に入られて、喜んでもらって、継続して買ってもらう。

それが経営の本質としている。

理にかなって、分かりやすい。



『ランチェスター 弱者必勝の戦略』

そのランチェスターをこよなく愛する、

竹田陽一先生のセミナーを聴いてきました。

とても分かりやすく、随所に笑いのエッセンスを取り入れ  
時間が経つのを忘れてしまうほどの楽しいセミナーでした。

最後に先生は言いました。『いい勉強の方法に出会って、

学んで結果が出るには7～8年かかる。』

私はその言葉を聴いて、胸の中のモヤモヤがスッと消えていくのを感じました。

そうか!!ちょっと勉強したからと言って、すぐに結果は出ない。

継続して、学び続けることが大切なんだ!

お客さまに気に入られて、喜ばれて、長くお付き合いさせていただく。

最高に楽しい経営のやり方だ!

私はこのやり方で経営を続けていきます。

大庭健二





## ☆ お客さま紹介 ☆

みなさん、こんにちは。大庭工務店リフォームアドバイザー江尻です。桜もすっかり葉桜となり、風薫る5月の始まりです。5月といえば“子供の日”ですね。今月のインタビューは、16年間、西淀川区の子育て支援に深く関わってこられた「NPO法人にしよどにこねっと」代表 原博美さんにあれこれと聞いてきました。

原さんは佃で人気のカプラーセンター「NPO法人おひさま」を設立される時、工事を依頼下さったOB様です。

突然ですが、みなさんは“子育て”と聞いて思い浮かぶイメージはどんなイメージですか？

A: かわいい、楽しい、幸せ、ほんわか、平和、手伝ってあげたい、イクメン

そんなイメージばかりだといいいのですが、大変なことも色々あるのが、現代の子育てへのイメージのようです。

広島県、因島出身の原さんは16年前、地縁のない西淀川区で子育てが始まり、孤立しがちな子育てになり、これではいけない(自分自身がこれではだめになる)と思い、子育てサクルという、子育ての仲間作りの取り組みを始められました。親子が集える場所を求めて、あちこち訪ね歩いて、子供なんて汚すし、うるさいし、(施設を)使わせられない」「その辺の公園でも行っていけばいい」「家にいけばいい」と冷ややかに言われるような時代でした。子育てはママ担当、仕事をしてくるパパの方が偉い。と一般的に言われるような時代でした。そんな厳しい環境の中でも、多くのママさん達は、一生懸命に、子育てを頑張っていました。原さん達の活動も少しずつ広がっていき、今では行政と協力し合って開催する活動も増えてきました。“みんな集まれファミリー広場”“世代間交流”“にこよんステーション”“冒険遊び場づくり”“いのちのふれあい授業”“Coo”その他にもたくさん西淀川区には子育て支援ネットワークが広がっています。みなさんがご存知の活動もあるかもしれませんね。

——原さんに「昔と今、どんな変化がありますか？」と質問しました。そして「虐待」の事についてもお聞きしました。「すい分と子育て支援の必要性が社会に認められて、子育て中の親子の居場所や、相談できる場所が増えました。でも一方で虐待の増加や子育て放棄(ネグレクト)する人も増えている。その増え方にスピードがついている。原因として、核家族化が進み、生活の中で子育てを全く知らずに親になる方が増えていると言われている。赤ちゃんを抱いた事もない、そう言う人が、20年前で5〜6割、今は7〜8割と言われている。」

「虐待は特別な事ではない、みんな一生懸命がんばっている中で、何か悪いきっかけがあると崩れていくことがある。・子育てを知らない。・孤立している。・パパが非協力。・まわりに相談できる人がいない。・自分がサクルに出るのが億劫。・親にも相談できない。何がきっかけなのかは決められないけれど、“孤独”でいると、悪循環しやすくて、いつのまにか虐待になっている事が多いと言われている。誰にでも起り得る危険性がある。」とおっしゃいました。

——「私たちにできる子育て支援ってなんですか？」

「身近なこと、ボーリングのピンと同じ、手前のピンを倒さないと、奥のピンは倒れない。後ろの方のひどい虐待や難しい問題を倒せないことを嘆いたり、どうせ自分には何にもできないと無関心だったり、無力感に囚われたりせず、お隣の事、目の前のこと、足元の事に目を向ける事が大事だと思う。」

「子供達や親に伝えたいのは、みんな素晴らしい命だということ。」「子育て支援は、親支援。」「つながりが大切。心が人とつながっていなかったら上手くいかない。人とつながる事は、面倒なことではなく、とても豊かなこと。悩みを打ち明けられなくても、つながっていれば悩みでなくなったり。深刻でなくなったりする。」「皆の喜び笑顔がみれたら最高。喜んでくれるお母さんがどんどん増えて欲しい。」「競争ではなく共奏(共に奏でる)」

まだまだ載せたいことがいっぱいあるんです。ご関心のある方はまたは是非声をかけて下さい。いっぱい語り合いたいです。

今、原さんは、NPO法人にしよどにこねっとで活動してきた中で、「世代間や障害がある方とともに生き・交流する事で新しい力が生まれるのでは」という、温めてきた夢を、実行に移そうと、「NPO法人おひさま」を立ち上げて、介護事業、NLP-さん派遣事業、保育事業をタテし、これらが融合(共生)することを目指しています。原さんは看護師さんですが、ごく普通の人で、強烈なリーダーシップがあるとか、特別何かに秀でているというタイプの人ではないようです。でも人の力を集める力があります。そして“まわりの人の力に支えられている”と、いつも感謝の気持ちを持っておられます。人の力が集まってくるのは、きっと原さんの志に、自分の志を重ね合わせる人が多いからなのかなと思います。

私は、坂本龍馬さんの大ファンだということをご存知の方も多いと思いますが、今までの原さんとの長い付き合いの中で、時折、「この人は平成の坂本龍馬かもしれない」と思う事がよくありました。インタビューを終え、神崎大橋を自転車で渡りながら、爽やかな気持ちで、海の方を見つめ、青空を見上げ、「日本の(子育て支援の)夜明けだよ、龍馬さん!」とつぶやいてしまいました。

江尻 美樹

そして、泣いてる子に声をかけるとか、自分でも「ちょっとの勇気でできる子育て支援を見つけよう!」と思いました。



## ※ 今月のハッピーニュース ※

日常の中でハッピーな事をみつけると  
気持ちも身体もとっても健康!になれる気がします☆  
大きな幸せも小さな幸せもハッピーな出来事があった事をお伝えします(^.^)

先日、おおばこ会のお客様のお宅にお伺いしました。

『ぼくの部屋 ちょっと変わってんで〜見て〜!』と嬉しそうに声をかけてくれました。

お家が完成した時にはなかった学習机が増えていました。小学1年生になったんです☆

とても嬉しそうに机の引き出しをひとつずつ開けて説明してくれました☆

その姿がとても可愛くて、嬉しくて、幸せを感じました(\*^\_^\*)

このお仕事を通じてお客様とのたくさんの出逢いがあります。

お客様のお子さん、お孫さんのご成長を見れて、一緒に喜びを感じさせてもらえて、とても嬉しいです☆

そして、嬉しいお知らせがあります。

今年はおおばこ会のお客様でご出産が続いています。

ご紹介しま〜す☆

2011年12月29日生 島田 正光(まさみつ)くん

2012年3月26日生 須藤 路久(ろく)くん

2012年3月27日生 水浦 淳太郎(じゅんたろう)くん

おめでとうございます☆ ご成長を楽しみにしています(#^.^#)

又遊びに来て下さいね!!みんな待ってます☆

大庭 博美



## ▲ 現場レポート ▲

阿倍野区西田辺町の〇様邸建て替え新築工事が3月初旬から始まりました。

築約50年の長屋の切り離しからスタートです。

解体工事も順調に進み、柱状改良〜基礎工事も問題なく終わりました。

4月9日棟上げ当日、やっぱり何度、経験してもワクワク感も、ありつつ、ドキドキ感もあります。

「何が!」と思われると思いますが、朝一番に

大型レッカーが、現場の前に居座り、材料を積み込んだトラックが、

次から次へと、入れ替わり立ち替わりくるんですヨ・・・・

いっぱい入った材料に、負けじと熊川棟梁と大工さん、ドンドンと柱と梁と床を組んでいってくれました。おかげで、思っていた以上に早く終わり、

棟上げが無事完成しました。

そして、夕方に上棟式が始まりました。

お施主様が用意していただいたお料理を目の前にしながら、

僕のグダグダなカンパいの挨拶・・・・・・トホホ

何度やっても、超緊張します。

みんなの笑顔がいっぱいの上棟式でした。

たくさんのおいしいお料理と、お気使いをいただき、ありがとうございました。

大工さんのみなさんも本当にお疲れさまでした。

みんなの力で造り上げられたお家の構造見学会を5月12日(土)13日(日)に開催決定しました。

みなさん、ぜひ、現場に見に来て下さいね。

戸田 仁

